２　熊本博物館リニューアルの経緯【簡単な沿革とロゴマーク】

熊本博物館が自然系・人文系資料を有する郷土の博物館として設立されたのは昭和 27(1952)年のこと。その後、いくつかの変遷を経て昭和 53(1978)年、現在地に本館が新築移転し、今年で 40 周年を迎えました。

ここ数年来、時代の流れに伴う新たなニーズや進歩する展示・保存技術に対応するため「リニューアル」に向けた準備が本格化し、平成 27(2015)年 10 月からは大規模改修工事に着手しました。平成 28 年熊本地震の影響等で、一時期は工事を中断せざるを得ませんでしたが、関係各位のご支援ご協力により、ようやくオープンの一歩手前まで辿り着くことができました。

熊本博物館の基本理念は「広域情報型・市民開放型・郷土立脚型・人間密着型の博物館」で、県域に広がる多彩なフィールドの紹介、調査・研究の成果を市民に還元する取り組み、郷土熊本の多様で豊かな資源の活用、時代や市民の皆さま方の要請・要望への適切な対応等を重視してきました。

この度のリニューアルにおきましても、それらの基本理念を継承しつつ現代的な視点で整理・再構築し、政令指定都市にふさわしい「より魅力的な博物館」として受け入れられるよう展示内容・展示方法等を一新しました。

リニューアルオープン後の熊本博物館にて、皆さまをお迎えできることを楽しみにしています。どうぞご期待ください。

【熊本博物館ロゴマーク：左下図】

熊本博物館
KUMAMOTO CITY MUSEUM

熊本博物館の特徴的な屋根の形状をモチーフとして、「未来へ引き継がれていく遺産としての外観」を活かし、３つのラインを用いてシンプルかつリズミカルに表現している。

隙間を空けることで軽やかさを出すとともに、利用者にとって開かれた施設であることを連想させる。